

あいの実 小平通信

～あんず・りんご・かりん～



例年に比べ色づきが遅れた紅葉でしたが、この秋はお天気にも恵まれ、透き通る空の青と赤、きいろのコントラストを充分楽しむことができました。朝晩の冷え込みも日ごとに増して、季節は本格的な冬へと移り変わってきました。

今年も残すところあとひと月となりました。皆さまにとって2023年はどんな一年だったでしょうか。コロナ禍と共に開所したあいの実小平にとっては、今年は長いトンネルから抜け出せた感慨深い一年です。5月にコロナがら類感染症に移行したことで、ご利用者さんの外出や外部からの見学の受け入れを積極的に行うことができるようになりました。施設の以外の人たちとふれあうことで、ご利用者さん、そして私たちスタッフもより生き生きとした表情になることを改めて感じました。冬は特に感染症の流行期でもありますので11月には看護師による法人研修を行いました。感染症と共存していけるように、必要に応じて対策を見直しながら生活が豊かになる支援を目指していきます。

12月は学校の冬休みも始まり、年末年始は施設もさらに賑やかになります。お楽しみのレクリエーションやご利用者さんのお母さんによるピアノコンサートも企画しています。12/29(金)から1/3(水)までは閉所とさせていただきます。

今年もご理解、ご協力ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします



11/23(祝)収穫祭に参加しました

園芸活動をしている畑の収穫祭が行われ、畑のオーナーさんが「あいの実さんも皆さんでぜひ」と招待してくださいました。畑で会うとあいさつ程度のお付き合いだったご近所さんに、あいの実の施設の説明をして、当日ご利用のすてきな仲間を紹介し交流を深めました。「かわいいね」「きちんとあいさつできてえらい！」と言葉をかけていただき、おみやげにジュースやバーベキューのおすそ分けをいただきました。楽しい秋の一日を過ごすことができました。



今年一年かりんで育てた野菜たちを写真とイラストで報告しました。困った時にはいつでも相談にのってくれる優しいオーナーさんです。

